

Corporate Data

マテリアリティ指標

当社はマテリアリティ指標、目標を設定しています。実績をご紹介します。



データ集はこちら

マテリアリティ	主な指標	2025年度実績	2027年度目標
多様なタレントが活躍する ダイバーシティの実現	Hitachi Insights ^{※1} 「従業員エンゲージメント」スコア	74pt	75pt
	Hitachi Insights ^{※1} 「インクルーシブ・チームワーク」スコア	77.9pt	80pt
挑戦を拓ける アジリティの高い組織づくり	Hitachi Insights ^{※1} 「従業員の成長マインドセット」スコア	68.7pt	70pt
	Hitachi Insights ^{※1} 「権限付与・委譲の実感」スコア	77pt	80pt
人権への取り組みの推進 サプライチェーン・ マネジメントの高度化	日立とともに環境や人権に取り組む 調達パートナー数(2024年度比) (日立グループ目標)	5,232社	1.5倍 (6000社+)以上
従業員の健康と安全の促進	総災害発生率(TRIFR) ^{※2}	0.12	0.05以下
	Hitachi Insights ^{※1} 「安全衛生・ウェルビーイング」スコア	70.1pt	75pt
成長を支える ガバナンスの進化	コンプライアンス内部通報制度の周知・運営を通じた 透明性の高い企業運営(通報実績件数)	18件	※3
脱炭素社会への貢献	事業所のCO ₂ 排出量削減率 (2019年度比)	58%	75%

※1 Hitachi Insights: 日立グループ全体で共通の内容を毎年実施し、グループ全体および各部門の強み弱みを把握する調査。分析結果をもとに、各管理職と人財部門が協働してアクションプランを立案、実行し、組織パフォーマンス向上やエンゲージメント向上につなげるもの

※2 TRIFR (Total Recordable Injury Frequency Rate): 20万労働時間当たりの総災害発生率

※3 実績公開

損益の状況(単独)

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
売上高	173,483	184,720	197,385	214,922	221,262
売上総利益	52,028	54,276	56,241	60,925	65,047
販売費および 一般管理費	26,706	32,098	32,227	33,643	33,357
営業利益	25,322	22,177	24,013	27,281	31,690
経常利益	30,258	25,993	30,568	35,035	40,171
当期純利益	18,811	20,243	24,796	26,401	32,106

受賞歴／認定



● 第46回 日本BtoB広告賞「サステナビリティ賞」受賞

ネットワーク

【国内拠点】

● 本社(東京) ● 横浜事業所 ● 中部事業所 ● 関西事業所

【国内グループ会社】

● 株式会社日立ソリューションズ東日本 ● 株式会社日立ソリューションズ・クリエイト
● 株式会社日立ソリューションズ西日本 ● 株式会社日立ソリューションズ・テクノロジー

【海外グループ会社】

● Hitachi Solutions America, Ltd. ● Hitachi Solutions Asia Pacific Pte. Ltd.
● Hitachi Solutions Canada, Ltd. ● Hitachi Solutions (Thailand), Ltd.
● Hitachi Solutions Europe Ltd. ● Hitachi Solutions Philippines Corporation
● Hitachi Solutions India Pvt. Ltd.

HITACHI

株式会社 日立ソリューションズ

所在地 本社：東京都品川区東品川4-12-7
設立 1970年(昭和45年)9月21日
資本金 200億円
売上高 221,262(百万円) 2026年3月期、単独
従業員数 5,129名(単独)／14,630名(連結)

※2026年3月31日現在

<https://www.hitachi-solutions.co.jp/>

About the cover

本レポートの表紙には、大阪・関西万博「いのちの遊び場 クラゲ館」で開催した2050年のまちをみんなで描くワークショップから生まれたイラストを採用しています。下絵は、従業員および当社が運営するオープンなコミュニティ「ハロみん」メンバーへのアンケートに加え、SNSでも広くアイデアを募集し、約2週間で集まった約450件の声をもとに制作しました。寄せられた意見を SX 実現に必要な4つの要素に分類し、春夏秋冬の季節と掛け合わせてAIツールで線画を生成。約480人の来場者が色を重ねることで、多様な想いが響き合う未来像が描かれました。この協創のプロセスは、SXの実践と定着を通じて持続可能な社会をともに作る当社の姿勢を象徴しています。 ©Expo 2025



ワークショップの
レポートはこちら

